



宮城 寛諄 議員

マイナンバー制度 中止を

答 万全の対策を図り、取り組む必要がある

問 年金情報流出問題でセキュリティが万全でも情報が漏れる事態が起きている。マイナンバー制度は多くの個人情報が集約されている。町民の生活、財産、暮らしを守るために、マイナンバー制度の中止を要請すべきではないか。

副町長 マイナンバー制度導入に当たっては懸念されている課題に万全の対策を図りたい。住民サービスの向上となるよう取り組む必要がある。

町民の南斎場の利用は

問 南斎場は本町を含む関係6市町で運営されている。町内で南斎場を利用できなかった件数は何件か。

副町長 施設に空きがなかったか遺族の意向で他を利用したのは7件である。

問 町民が利用できなかった原因をどう捉えているか。

副町長 特定できない。

問 当初計画した予想人数と比べてどうなのか。

副町長 計画どおりと考えている。

問 他の施設を利用して割高の利用料(南斎場25000円、いなんせ斎苑50000円、石川葬祭場71600円)を払うことになる。それに対する補助はあるか。

副町長 差額に対する補助はない。

平成26年度南斎場利用件数

区分	利用件数
関係市町村(南風原町)	1522(227)
その他圏内	274
南部広域市町村圏外	408
合計	2204
平均利用件数	8件/日

※平成26年6月26日供用開始

問 関係市町に優先に割り当てることができないか。他の施設を利用したときは補助できないか。町民が不利益にならないようにすべきではないか。

副町長 朝30分の受付時間の

優先がある。使用料金を区別していることも妥当な配慮がされていると考える。

問 広域外も利用しているならば、6市町の不利益にならないように進言してほしい。町内で利用できなかったケースが7件あったのだから補助を出す要請をしてほしい。町独自でもできないか。

町長 不利益を被っているとは考えていない。

農家の所得向上を

問 ファーマーズを中心に町や県、JA、農家と協力して、安全、安心な農産物の地産地消を進めいくことが農家の所得向上につながるのではないか。

副町長 一体的に取り組むことが大切だと思う。以前から役場や生産農家が構成する研究会で商品開発に取り組んでいる。数多くレシピも紹介されている。